

(6) 日 程

	午 前	午 後	夜 間
第 1 日 (7.15)		開 会 式 わが国社会教育行政 の問題点	本県社会教育の現状 と問題点
第 2 日 (7.16)	教育課程論	近世における自我の確立 について	成人教育での学校、 学級の学習内容編成
第 3 日 (7.17)	社会教育計画と社会調査		
第 4 日 (8.2)		わが国産業経済の現状と今後の方向	
第 5 日 (8.3)	成人教育での学校、学級の学習 内容編成	家庭経営と消費者教育	研究協議
第 6 日 (8.4)	社会心理概説	閉 会 式	

(7) 研修会に作成した資料

- ① 昭和40年度社会教育主事研修会要項
- ② 昭和40年度市町村社会教育主事研修会実施報告書（各講師の講義を中心に集録）

(8) 効 果

社会教育担当者の現職教育として、合宿による長期研修の機会をもち、講義、研究討議等をおして熱心な研修が行なわれた。  
これによって、受講者の資質の向上と指導力の強化がはかられ、地方における社会教育の振興充実に大きな効果をあげ得たものと思われる。

- (イ) 成人教育における市民性の向上について
- (ウ) 家庭教育の振興充実について

② 講 義

- ア、社会開発と社会教育
- イ、社会教育委員の性格と任務について

③ 効 果

社会教育委員が社会教育の現状を具体的に検討し、社会教育委員制度の本来の目的を理解し、市町村社会教育計画樹立について理解を深め得た。今後の社会教育振興充実に社会教育委員の活動が大いに期待される。

3 社会教育委員研究協議会

(1) 目 的

社会教育委員の性格・任務および活動上の諸問題について研究協議を行ない、もって本県社会教育の振興に資する。

(2) 期日・会場・参加者数

40・7・28～29 福島市飯坂町、県婦人会館72名

(3) 講 師

福島大学学芸学部長 平井 博  
福島県教育委員会社会教育課長 丹野清栄

(4) 参加対象者 市町村社会教育委員

(5) 内 容

① 研究協議題

- ア、社会の変ばうに即応する地域社会計画はどうあるべきか。
  - (ア) 社会教育委員制度の本来の目的および運営の現況について
  - (イ) 社会教育計画立案に関する社会教育委員の職務について
- イ、青少年教育振興充実方策について
  - (ア) 青少年教育振興充実のための条件整備について
  - (イ) 青少年指導のあり方とその方法について
- ウ、成人教育振興充実の方策について
  - (ア) 成人教育振興充実のための条件整備について

4 総合社会教育研究協議会

(1) 目 的

社会教育関係者と社会教育に関連する行政機関、団体関係者の参加を得て、相互の理解を深めるとともに、社会教育について総合的な研究協議を行ない、もって、社会教育の振興および地域の発展に寄与することを目的とする。

(2) 期日・会場・参加者数

期 日	会 場	参加者数
40.9.7～8	福島市公民館	75
9.9～10	喜多方市厚生会館	120
9.14～15	塙町公民館	140
9.16～17	磐城市市民会館	150

(3) 講 師

東京教育大学教育学部教授 平沢 薫  
横浜国立大学学芸学部助教授 田代元弥  
福島大学学芸学部教授 堀口知明

(4) 参 加 対 象

- ① 市町村長、市町村議会議長、市町村教育委員会教育長、公民館長、社会教育委員ならびに関係職員
- ② 明るく正しい選挙、貯蓄推進、青少年問題、新生活運動、福祉関係ならびに商工会議所、商工会、農業協同組合、社会教育関係団体の関係者  
・参加人員は市町村ごと各部門について1名以上とする。